

II. 地域の取組紹介

北海道

事業所管：北海道 経済部 食関連産業局 食産業振興課

地域事務局：北海道食品産業協議会・北海道科学技術総合振興センター

気候変動等の生産リスク分散と資源ロス軽減のため、新たなビジネスクラスターをめざす

収穫変動等のリスク分散のために、
北海道の素材由来の天然調味料の開発を通じた
産地クラスターを再構築する。



玉ねぎはJAおとふけが生産し、加工は業務用調味料を製造している和弘食品株式会社が担当した。手軽に本格的な味わいが出せるため飲食チェーン店などから問い合わせが来ている。

プラットフォームの形成

▶ 北海道食品産業協議会の参加企業を中心に、北海道科学技術総合振興センターやフード特区機構の支援先と連携先等、フードチェーンを構成する生産者や流通業者、異業種も加えて構築。

LFP パートナー数 | 320社・団体

2022.3 現在

主な取組内容

- ▶ 令和3年度は、加工適性に優れた新品種の玉ねぎ「ゆめせんか」の生産者と調味料メーカー、地元シンクタンクなどが連携し試作開発に取り組んだ。旨味が強くて加熱しても変色しにくく、用途を選ばず利用できる玉ねぎの特性を活かし、業務用にも家庭用にも利用できる万能調味料を開発した。
- ▶ 地域の商品を住民が購入することで地域経済を支える未来を標榜しサポーターズクラブも構想した。

岩手県

事業所管：岩手県 農林水産部 流通課

地域事務局：いわて6次産業化推進協議会

農山漁村をまるごと活かして 新しい価値を創造し、地域を次世代につなぐ

岩手県の農山漁村にある多様で豊かな食と食を取り巻く環境、文化、暮らしを育む「人」と「風景」を育て、その価値を磨き、
地域の恵みのバトンを次世代に引き継ぐ。



いわて羊連携協議会を主体としてめん羊の羊毛・皮を使った生活雑貨の製作・発信を実施。また、県内菓子メーカー6社が果実プレザーブを用いた新しいスイーツを製造し、消費者への発信を行った。

プラットフォームの形成

▶ 生産者、加工事業者、流通業者に加え、地域商社、デザイン、着地型観光の旅行会社、DMO、試験研究機関など、横断的な取組を可能とする幅広い業種が参加するプラットフォームを構築。

LFP パートナー数 | 33社・団体

2022.3 現在

主な取組内容

- ▶ LFPパートナーの加工技術を活かし、めん羊未利用部分を使ったポーチやブランケットなどの生活雑貨を開発した。
- ▶ 菓子メーカーが県産果実を使用しやすいよう一次加工原料として果実プレザーブを開発した。
- ▶ 日本女子大学の連携授業で、「食」と取り巻く農山村全体を価値と位置づけて事業アイデアを広げ、食と体験を軸とした農村ツーリズムの事業モデル及び体制づくりに取り組んだ。